

# PAM通信 コラム

2011年9月発行

## <第54回> 後日談の後日談

前回のコラムの“後日談（幽霊の話）”は楽しんでいただけましたか？  
（前回のコラムを読んでいない方は、このコラムを読む前にお読みください）

実は前回のコラムのストーリーは作り話でした。真実だと思っていた方には申し訳ありません。あのストーリーは読んだ人（読者なら自分）がどう考え、どう行動するかの思考実験になることを想定して創作したものです。しかし、なんの検証も行っていないので、その結果解釈は“お遊び程度”とお考えください。それでは以下がその説明です。

前回のコラムのストーリーには矛盾があります。「Oさんは、霊に遭遇して冷たくなっていたKさんの体験を知り得ないはず？」との矛盾です。また、「公にはできないと言いながら“個別には教えるので”と連絡を要求する著者の態度」も矛盾です。

このストーリーを読んだ人のリアクションとして想定していたのは…

- ・ 怖い話だ。
- ・ Kさんは、この病院の医療事故で亡くなった霊に殺されたのだろう。
- ・ なんだか変な話だ。
- ・ 矛盾がある話なので真実ではない。この話を読んだ他の人はどう思ったのか聞いてみよう。
- ・ 冷たくなっていたKさんは死んではおらず、蘇生したのかもかもしれない。
- ・ 矛盾がある話なので真実ではない。では著者はどんな意図でこの話を書いたのか聞いてみよう。
- ・ 矛盾がある話なので真実ではない。著者がメールで個別連絡を要求しているのだから、著者の意図は個別のリアクションを知ることだろう？ならば公言してはまずいはずだから、こっそりと意図を確かめよう。

などです。リアクションに正解があるわけではありません。ただ、これらのリアクションは段々と“分析的に思考し行動する傾向”が強くなっていることを想定しています。自分のリアクションが上記のどの例に近かったかで自分の思考や行動の分析傾向を判断してみてください。ただし間違えないで欲しいのは、ここで判断をしているのは、あくまでも“分析傾向”の強さで、“判断能力”や“頭の良さ”ではありません。分析が苦手な人が他の能力に優れていることはよくあります（例えば、情緒能力や社交能力）。とは言え、前回のコラムのストーリーの矛盾に気付かなかった人は、催眠商法やカルト教団に“騙されないように”気を付けましょう！

最後に実際にあったリアクションをいくつか紹介します。「怖い話だな～！」、「この後はどうなったの？」、「これって嘘の話でしょ？」、「Oさんの創った話？」、「Kさんはメモでも残したの？」、「臓器売買の犯罪が裏にある？」などなど。色々なリアクションがあり、色々な人がいるからこそ世の中は豊かで面白いのではないのでしょうか？（TK）